

# 目次

まえがき	i
凡例	iii
<b>症例 1</b>	<b>発熱（夏かぜ）</b> ..... 1
	重点小括 1 太陽病と衛分証の判別 ..... 4
<b>症例 2</b>	<b>発熱（夏かぜ）</b> ..... 9
	重点小括 2 湿邪の特性と証候 ..... 12
<b>症例 3</b>	<b>発熱（川崎病）</b> ..... 15
	重点小括 3 血証の種類と治療 ..... 18
<b>症例 4</b>	<b>全身癢痒感（バセドウ病）</b> ..... 29
	重点小括 4 火証の弁証① 実火 ..... 34
<b>症例 5</b>	<b>鷲皮（烏肌）</b> ..... 37
	重点小括 5 桂枝と麻黄：太陽病における役割の違い ..... 41
<b>症例 6</b>	<b>咽喉痛（伝染性単核球症）</b> ..... 45
	重点小括 6 清熱薬の分類と使い分け ..... 48
<b>症例 7</b>	<b>带状疱疹後神経痛</b> ..... 53
	重点小括 7 絡病と通絡法 ..... 59
<b>症例 8</b>	<b>下肢の腫痛（偽痛風）</b> ..... 63
	重点小括 8 生薬による腎障害 ..... 67

症例 9	三叉神経痛	79
	重点小括 9 a 痛みの特徴による病邪の鑑別	83
	重点小括 9 b 附子末の種類と運用法	87
症例 10	擤鼻時の頭痛	91
	重点小括 10 痰の病態と多様性	94
症例 11	眩暈, 動悸息切れ, 身重感	113
	重点小括 11 臓腑の気の昇降と陰陽五行説	116
症例 12	頭痛・倦怠感	121
	重点小括 12 肝気虚の病態と治療	125
症例 13	不明熱	131
	重点小括 13 相火の生理と病理	135
症例 14	冷えのぼせ	137
	重点小括 14 火証の弁証② 虚火	140
症例 15	口唇・舌の疼痛	147
	重点小括 15 性味と配伍	152
症例 16	呼吸困難感	155
	重点小括 16 腎虚の病証の多様性について	158
症例 17	頭痛	163
	重点小括 17a 風痰の病態と治療	167
	重点小括 17b 白朮と蒼朮	168

症例18	皮膚瘙癢感	171
	重点小括18 血虚の派生病態	174
症例19	閃輝暗点	179
	重点小括19 【用薬法】 釣藤鈎と天麻	185
症例20	鼠径部痛	187
	重点小括20 【用薬法】 目的別 柴胡の用法	191
症例21	四肢のしびれ	195
	重点小括21 【用薬法】 黄耆と人参	200
症例22	外陰部瘙癢症	203
	重点小括22 陰虚の派生病態	207

〈小講義1〉 温病の弁証概説	22
〈小講義2〉 日中生薬の相違	71
〈小講義3〉 脈象の今風解説	98
〈小講義4〉 切脈法と持脈軽重法	108
〈小講義5〉 所見の取捨と四診合参	210

あとがき	213
主な参考文献	215
索引	217